

## 地域おこし協力隊が安浦に来た——!!

「地域おこし協力隊」は都市部の人に移住し、地域の課題や発展のために活動をする制度です。この度、「地域おこし協力隊員」として土佐の高知から、ケーキ作りが趣味の二神愛美さんが安浦にやってきました。

協力隊員になろうと思った動機は、親元を離れ自立すること。たまたま呉市役所に飛び込んだら、地域おこし協力隊の募集を知って即応募。トントントンと事は運び、晴れて4月1日から安浦の地域おこし協力隊に。(運命ですね。)

今は、安浦のことを知ろうと、「安浦町史」や「安浦の民話」を読み、まちづくり協議会のウォーキングマップをたよりにまち歩きをしています。

安浦町全体を見ると、まだまだ復旧半ばですが、みなさん明るく元気に、それぞれの分野で活動しているのに驚いています。その現場にスポットをあて発信できれば素敵だと思います。皆さん二神隊員をよろしくお祈りします。



ふたがみまなみ  
二神愛美さん

## 安浦中学校の新給食室

# 完成

安浦中学校の給食室は築52年の老朽化に伴い、衛生面から新築移転が切望されていました。このたび生徒・保護者・職員の願いが叶い、本年4月待望の給食室が完成。

新規に大型オーブン、急速冷却機、水を流さないドライシステムなどを導入、機能的に調理できるよう配置されました。4月5日には関係者約40名を招いて試食会が実施されました。調理スタッフ一同、子ども達のために美味しくバランスのとれた給食を作ります。



調理室



試食会



## 安浦を元気にする活動

### 仮設住宅に元気を取り戻す!!

安登地区に仮設住宅が建設されて8か月が経過、住民・社協職員・ボランティアなどが協力して各種復興イベントが開催され、元気を取り戻しています。

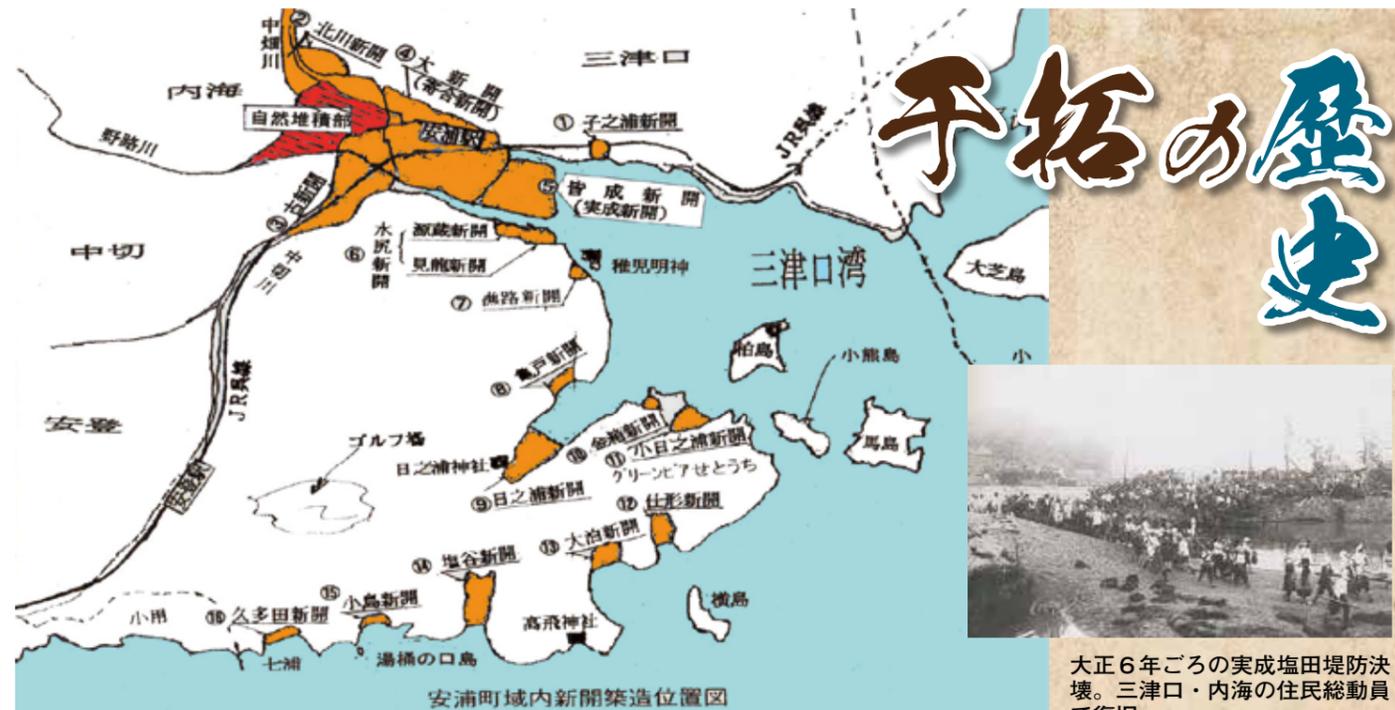
- 12月27日年末の餅つき大会が実施されました。
- 3月30日住民が積極的に料理を作って提供し、近隣住民やボランティアさん等を接待され、参加者約200名と花見をしました。
- 5月19日沖縄のボランティアグループが、サンゴの鈴やシーサー作り・伝統芸能カチャーシーの踊り実演・お菓子釣りや沖縄料理の提供が行われ、急な開催にも関わらず約120名が参加し、イベントを楽しみました。



花見



沖縄からの慰問



安浦町域内新開築造位置図

## 干拓の歴史



大正6年ごろの実成塩田堤防決壊。三津口・内海の住民総動員で復旧。

中世の安浦町中心地は山が海岸まで迫っており、深い入江を囲むような長い海岸線があり、入江を干拓し新開を築造する余地が多かった。当時の基本経済であった「米」の増産を図るため、山裾では棚田、入江では新開築造が進みました。しかし、当時の築造技術では風水害の影響でたびたび堤防が壊れ、地域住民が一体となって復旧に努めていました。

この新開築造を調べるにより、中世の安浦の海岸域が推定でき、潮待ち・風待ちの停泊地として利用されていたことが分かります。

No	新開名	面積(ha)	完成年	完成時の開拓者
①	子之浦	1.65	不詳	不詳
②	北川	4.9	1530年頃	内海村・松田宗左衛門
③	古新開	6.36	1657年	不詳
④	大新開	1期:33.44	1692年	三津口村・庄屋平左衛門
		2期:28.26	1812年	内海村・庄屋諸三郎
⑤	実成	1期:22.82	1861年	内海村・広村庄屋吉左衛門
		2期:33.00	1908年	香川県・塩田三郎ら20名
⑥	水尻(源蔵)	8.5	不詳	広村・庄屋大林源蔵
⑥	水尻(見龍)	15.29	1816年	三津口村松井見龍
⑦	樵路	6.3	1857年	内海村・新蔵
⑧	亀戸	2	不詳	不詳
⑨	日之浦	1期:5.93	1854年	近藤為三郎
		2期:1.36	1895年	内海村・近藤 新
⑩	金箱	0.77	不詳	不詳
⑪	小日之浦	1期:2.27	1818年	三津口村・胡屋忠左衛門
		2期:4.70	1889年	内海村・桐山覚造ら
⑫	仕形	3.47	1838年	不詳
⑬	大泊	3.11	不詳	不詳
⑭	塩谷	7.49	1837年	不詳
⑮	小島	1.28	不詳	不詳
⑯	久多田	2.23	不詳	不詳

## おでかけ情報

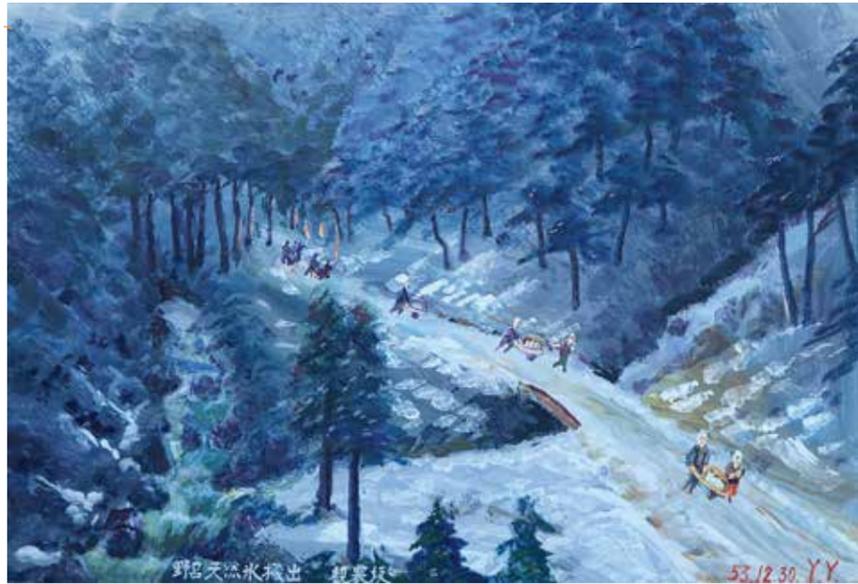
月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金)	10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
6月	さわやかクッキング	6/14(金)	10:00~12:30	安登駅前駐輪場2階
	安浦保健出張所(参加費400円)			
	シアター(映画会)	6/15(第3土)	10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階
	ストレッチング教室	6/18(火)	10:00~11:30	安浦保健出張所
	安浦地区育児相談室	6/21(金)	10:00~11:30	安浦保健出張所
	フリーマーケット	6/22(土)	10:00~12:30	安浦まちづくりセンター1階ロビー
	和☆Rock演奏会	6/30(日)	13:30開場	きらめきホール
7月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金)	10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
	さわやかクッキング	7/12(金)	10:00~12:30	安登駅前駐輪場2階
	安浦保健出張所(参加費400円)			
	ストレッチング教室	7/16(火)	10:00~11:30	安浦保健出張所
	安浦地区育児相談室	7/19(金)	10:00~11:30	安浦保健出張所1階健康増進室
	シアター(映画会)	7/20(第3土)	10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階
	8月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金)	10:00~15:00
ストレッチング教室		8/6(火)	10:00~11:30	安浦保健出張所
さわやかクッキング		8/9(金)	10:00~12:30	安浦保健出張所(参加費400円)
安浦地区育児相談室				
安浦地区育児相談室		8/16(金)	10:00~11:30	安浦保健出張所1階健康増進室
シアター(映画会)		8/17(第3土)	10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階
つながれ安浦夏祭り		8/17(土)	11:00~	商工会横の駐車場
9月	おしゃべりサロン	毎週(火・木・金)	10:00~15:00	安登駅前駐輪場2階
	ストレッチング教室	9/3(火)	10:00~11:30	安浦保健出張所
	さわやかクッキング	9/6(金)	10:00~12:30	安浦保健出張所(参加費400円)
	安浦地区育児相談室			
	安浦地区育児相談室	9/12・13(木・金)	受付8:30~10:00	安浦保健出張所
	呉市集団検診	9/17~20(火~金)	受付8:30~10:00	安浦保健出張所
	シアター(映画会)	9/21(第3土)	10:00~12:00	安登駅前駐輪場2階
安浦地区育児相談室	9/27(金)	10:00~11:30	安浦保健出張所1階健康増進室	

# やすうら 記憶遺産

## 野呂山天然氷搬出



氷搬出の道と思われる



野呂山天然氷搬出 複製画

冬の氷を夏に売る。それを世界で初めて商売にしたのはアメリカ人。ボストン氷と呼ばれたその氷は、やがて鎖国を解いたばかりの日本、横浜港へ上陸します。

横浜に、今でいうベンチャー起業で身を立てようと乗り込んだ中川嘉兵衛という人物がいました。

この外国産の氷を見て、苦難の末北海道で「函館氷」を製造販売し大成功。明治初年から20年頃をピークに、この天然氷が日本中で大評判となり、各地で天然氷製造販売が勃興します。明治の起業家精神はやがて西日本の小さな村、安浦にも波及します。

野呂山山頂には、その名も水池という池があります。この水池を中心に、馬離場（ばりば）池など大小36の池があり、明治22年から天然氷の製造が開始されます。1月から2月頃の真夜中、標高のある山頂で凍てつく池、その薄氷の上にひっきりなしに水をかけて厚い氷を作り切り出して、夜明け頃ふもとの村まで運搬する、という過酷な作業です。この絵は山から氷を降ろす人々の姿を描いています。

近代に花開いた天然氷製造という商売。明治30年代に入ると機械の製氷機が登場し、またたくまに衰退します。野呂山山頂での天然氷製造は、わずか10年ほどの歴史でした。



## 盛川酒造株式会社(清酒白鴻醸造元)

安浦町原畑44 TEL0823-84-2002



明治20年頃、創業時の写真  
当座に唯一残っている創業時の面影を残す酒蔵の写真。酒樽の銘柄は、「白鴻」ではなく、「賀茂司」となっています。



明治20年頃創業当時の写真とポスター

明治20（1887）年10月・初代盛川辰造氏により創業。以来130年にわたり、野呂山麓で上質の軟水を得、広島杜氏の伝統の技を守り工夫しながら「汲むほどに味も香りも深き酒」を社是として、鋭意近代的醸造法の研究を日々重ねている。昭和20年9月の枕崎台風による水害で大被害を受けたが、再建に努力して製造を続けられ、現在では安浦で唯一となった醸造元です。



7代目当主知則氏と杜氏元晴氏

昨年7月の西日本豪雨でも被害を受けましたが、酒蔵は無事でした。今年4月の第7回蔵まつりには、日頃のご愛顧に感謝と、安浦から元気を取り戻そうとの思いをこめ、盛況に開催されました。現当主の盛川知則氏は7代目にあたり、杜氏として酒造りを行うのは、実弟元晴氏です。

現在人気商品は「白鴻特別純米酒緑ラベル」「蔵さぢ」「白鴻純米大吟醸50沙羅双樹」等あり、安浦から海外に向けても出荷しています。主な輸出先は香港・フランス・カナダ等で、高い評価をうけています。

## 安浦ちいとプロジェクト

ちいとずつ育てて、ちいとずつ広げる

# 始動!!



泥水に浸かったマリーゴールド

くれんどの染め工房カンパネラ（日之浦）で栽培されていたマリーゴールドは、昨年の豪雨で被災しましたが、別の畑に移植し約500粒の種が取れました。この種をまちづくり協議会が譲り受け、未来につないで、災害を風化させないためのプロジェクトを始めました。町内の小中学校・保育所・幼稚園と自治会・熊野町大原ハイツ復興の会でも取り組んでいただき、ちいとずつ広がりもみせています。

このたび、安浦町の児童が総合学習で種まきを行いました。ちょうど花の咲くころが災害時期と重なるため、この花を使ってハンカチ染を行い、学校をハンカチガーランドで彩る予定です。



安登小学校の種まき



安浦小学校の種まき

## 写真でみる今と昔

### 安浦アーカイブ

時代とともに様変わりする景色や人々の暮らし。懐かしい風景をご覧ください。

#### 安浦駅構内



昭和9年の安浦駅(当時の呼名は三津内海駅)構内の線路敷設工事写真。当時の駅周囲は民家がほとんどなく田んぼが広がっていた。また、工事作業員は男性だけでなく、女性も参加していた。



呉線も建設当時の蒸気機関車⇒ディーゼル列車⇒電車へと進化した。駅周辺は市民センター・中学校・保健出張所などが建設され、住宅団地もでき、安浦町の中心地へと変わった。

#### 野呂山兜岩展望台



昭和35年当時の写真。野呂山は身近なハイキング地であり、林内に宿泊や休憩ができる山小屋があった。周囲の谷筋には小川が流れ、飯ごう炊さんや小屋前の広場でバレーボールなど若者が楽しんでいた。



観光道路が出来てから、山小屋は野呂山レストハウスに変わり、近くには遊園地やサーキットなどができ、昭和の時代までは、安・近・短の観光地として賑わっていた。平成になって観光が多様化し、静かな行楽地へと戻った。